



The 45th Annual Meeting of the Japanese Society of Respiratory Care Medicine
第45回日本呼吸療法医学会学術集会

ランチオンセミナー8

Luncheon Seminar 8

日時

2023年 8月6日(日) 12:00~12:50

会場

第2会場 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)

5F 小ホール1

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

自発呼吸関連肺・横隔膜傷害 と管理方法

座長

坂口 嘉郎 先生

佐賀大学医学部 麻酔・蘇生学 教授

演者

吉田 健史 先生

大阪大学大学院医学系研究科 麻酔集中治療医学教室 准教授

本セミナーは整理券制ではありません

直接会場にお越しいただき、先着順にご入場いただきます。

共催：第45回日本呼吸療法医学会学術集会
フクダ電子株式会社

自発呼吸関連肺・横隔膜傷害 と管理方法

吉田 健史 先生

大阪大学大学院医学系研究科 麻酔集中治療医学教室 准教授

人工呼吸管理中の自発呼吸温存は肺だけでなく横隔膜を傷害する可能性があることが臨床研究また基礎研究から示唆されている。強い吸気努力に伴う不均一な換気パターンや肺血流の増加に加えて、強い吸気努力がない状況でも患者人工呼吸器非同調に伴い肺・横隔膜傷害が発生することが我々の研究から明らかになった。こうした一連の研究から、自発呼吸関連肺・横隔膜傷害という新しい概念が確立された。筋弛緩剤による自発呼吸の抑制は、筋萎縮を引き起こす可能性があるために、筋弛緩剤を使わずに「安全な」自発呼吸を温存するために必要なモニタリング・管理方法の確立が現在の優先課題である。本セッションでは、自発呼吸関連肺・横隔膜傷害の概念、メカニズムを紹介し、「安全な」自発呼吸を温存するために必要なモニタリング法としてP0.1やその管理方法としてのNAVAを紹介する。

共催：第45回日本呼吸療法医学会学術集会
フクダ電子株式会社